

Rotary  
第2760地区



# 2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ ラーニングセミナー 報告書

## 地区方針

元気で なかよく 楽しく そして 高潔に  
～ 新たな視点からの挑戦 ～

## 開催日

2026年4月5日(日)

## 会場

名古屋マリオットアソシアホテル

ホスト:津島ロータリークラブ



## ロータリーの目的

### OBJECT OF ROTARY

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。（R I 定款第3条、標準ロータリークラブ定款第5条）

## 四つのテスト

### THE FOUR-WAY TEST

言行はこれに照らしてから

Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

- Is it the TRUTH?  
Is it FAIR to all concerned?  
Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?  
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

## ロータリー行動計画

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

#### 優先事項1

### より大きな インパクトを もたらす

- ・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

#### 優先事項2

### 参加者の 基盤を広げる

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ・ロータリー参加の新しい道筋を創り出す
- ・ロータリーの開放性とアピール力を高める
- ・インパクトとブランドに対する認知を築く

#### 優先事項3

### 参加者の 積極的な かかわりを促す

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- ・価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- ・個人的／職業的なつながりを築く新たな機会を提供する
- ・リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

#### 優先事項4

### 適応力を 高める

- ・研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く
- ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- ・意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

## ロータリー財団のミッションステートメント

### THE ROTARY FOUNDATION MISSION STATEMENT

ロータリー財団は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする





# 目次

2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 概要書	2
2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 次第	3
2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 会場案内図	4
2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 会場一覧	5
ガバナー挨拶	6
歓迎の言葉	7
次期地区ラーニングファシリテーター挨拶	8
ガバナーエレクト所信表明	9
2026-27年度 地区大会ご案内	11
特別講演	12
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第1・2分科会次第	14
第1・2分科会報告	15
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第3分科会次第	16
第3分科会報告	17
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第4分科会次第	18
第4分科会報告	19
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第5分科会次第	20
第5分科会報告	21
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第6分科会次第	22
第6分科会報告	23
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第7分科会次第	24
第7分科会報告	25
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第8分科会次第	26
第8分科会報告	27
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第9分科会次第	28
第9分科会報告	29
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーまとめ	30
次期ホストクラブ挨拶	31
講評	32
お礼の言葉	33
当日の写真	34



## 2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 概要書

**開催日** 2026年4月5日（日）

**開催会場** 名古屋マリオットアソシアホテル

### 出席義務者

会長、会長エレクト、副会長、幹事、会計、会場監督(SAA)、副幹事、  
 クラブ行動計画推進リーダー、会員増強委員長、職業分類委員長、会員選考委員長、  
 退会防止委員長、会場運営委員長、プログラム委員長、クラブ奉仕委員長、親睦活動委員長、  
 クラブ・ラーニングファシリテーター(元ロータリー研修(情報)委員長)、  
 公共イメージ向上(広報、雑誌、IT、クラブ会報)委員長、奉仕プロジェクト委員長、  
 国際奉仕委員長、社会奉仕委員長、RCC委員長、環境保全委員長、職業奉仕委員長、  
 ロータリー財団委員長、青少年奉仕委員長、インターアクト委員長、ローターアクト委員長、  
 RYLA委員長、青少年交換委員長、米山記念奨学委員長、  
 上記にはない名称の委員会委員長、入会3年未満の新会員

### 参加クラブ

84クラブ・ローターアクトクラブ 9クラブ

### 登録料

一般会員 13,000円  
 インターアクト・ローターアクト 6,500円

### ホストクラブ

津島ロータリークラブ

### 出席者数

(2026年4月5日現在)

パストガバナー .....	11名
次期地区役員・委員／次期ファシリテーター .....	235名
クラブ出席義務者 .....	1,375名
クラブ一般出席者 .....	118名
ローターアクト .....	31名
インターアクト .....	18名
合計 .....	1,788名

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーは、ロータリークラブの行事の中で最も重要な地区の会合のひとつであります。

これは、次期クラブ指導者が一堂に会して次年度地区方針に沿ったクラブ運営をしていくための勉強の機会であります。

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーがどれだけ目標を達成できるかによって次年度のロータリークラブの成否が決まるといっても過言ではありません。

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーはクラブ指導者が、毎年7月1日に交替するにもかかわらず、その前後をつないでロータリーの奉仕プログラムを継承して行えるようにしている、極めて大切な連結点であります。

## 2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 次第

**開催日時** 2026年4月5日(日) 12:30～16:30

**開催会場** 名古屋マリオットアソシアホテル

**ホストクラブ** 津島ロータリークラブ(西尾張分区)

次 第	時 間	内 容
受付	10:45～12:30	昼食 10:45～12:00
本会議 (90分)	12:30～13:15	司会 大河内 勝彦/池崎 晴美
点鐘	12:30	ガバナー 鈴木 康仁
国歌・ロータリーソング	12:31～12:35	ソングリーダー(津島RC) 堀田 力男
登壇者紹介	12:35～12:39	実行委員長 浅井 彦治
ガバナー挨拶(5分)	12:39～12:44	ガバナー 鈴木 康仁
歓迎の言葉(3分)	12:44～12:47	ホストクラブ会長 稲垣 宏高
次期地区ラーニングファシリテーター挨拶(5分)	12:47～12:52	次期地区ラーニングファシリテーター 酒井 法丈
ガバナーエレクト所信表明(15分)	12:52～13:07	ガバナーエレクト 國府谷 俊盛
2026-27年度地区大会ご案内(名古屋栄RC)	13:07～13:15	地区大会実行委員長 山田 慎也
特別講演 (45分)	13:15～14:00	国際ロータリー第2840地区パストガバナー 高崎ロータリークラブ所属 田中 久夫氏
移動・休憩	(15分間)	
分科会 (90分)	14:15～15:45	
移動・休憩	(15分間)	
本会議 (30分)	16:00～16:30	
クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーまとめ	16:00～16:10	ガバナーエレクト 國府谷 俊盛
次期ホストクラブ挨拶(名古屋名南RC)	16:10～16:15	次期ホストクラブ会長 高橋 司
講評	16:15～16:25	ガバナー 鈴木 康仁
お礼の言葉	16:25～16:30	実行委員長 浅井 彦治
閉会・点鐘	16:30	ガバナー 鈴木 康仁



## 2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 会場一覧

		使用会場	収容人数	
<b>本会議</b>	参加者全員	タワーズボールルーム アイリス	1,400 500	
<b>分 科 会</b>	<b>第1分科会</b> (クラブ管理・会員増強)	タワーズボールルーム	1,400	
	<b>第2分科会</b> (クラブ運営)			副会長・SAA・会場運営・プログラム・ 親睦・クラブ奉仕・ロータリー情報
	<b>第3分科会</b> (公共イメージ向上)	公共イメージ (広報・雑誌・IT・会報)	アイリスI	220
	<b>第4分科会</b> (国際奉仕)	国際奉仕	シリウス	140
	<b>第5分科会</b> (社会奉仕・職業奉仕)	社会奉仕・環境保全・RCC・職業奉仕	コスモス	220
	<b>第6分科会</b> (ロータリー財団)	ロータリー財団	サルビア	150
	<b>第7分科会</b> (青少年奉仕関係)	青少年奉仕・インターアクト・ロータ ーアクト・RYLA・青少年交換・学友	アイリスII	220
	<b>第8分科会</b> (米山記念奨学)	米山記念奨学	ジュピター	120
	<b>第9分科会</b> (入会3年未満の新会員)	入会3年未満の新会員	アゼリア	460



## ガバナー挨拶



ガバナー

鈴木 康仁

本日は、2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日お集まりの皆さまは、次年度、会長を始めとする各クラブのリーダーとしてその役割を担われる皆さま、在籍3年未満の会員の皆さま、そしてローターアクトクラブの会長・幹事の皆さままであります。

このセミナーは、これまで「地区研修・協議会」と呼ばれてきた会合にあたるものでもあります。その名称が、「クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー」へと変わりました。そこには、それぞれが考え、学び、自らのクラブへ持ち帰り、クラブの中で活かしていく、学びの場であるという考え方が込められています。

私たちのロータリーは、それぞれのクラブの活動の積み重ねによって成り立っています。だからこそ、それぞれのクラブの活動そのものが大切なのであります。

クラブのリーダーとなる皆さまが、どのように考え、どのようにクラブ運営に向き合われるかが、一年のロータリーを形づくる鍵となります。

この後、国際協議会を経て示されたRIのメッセージ、そしてそれを受けた次年度地区活動方針が、國府谷ガバナーエレクトから示されることとなります。それらを踏まえながら、それぞれのクラブにおいて、どのように一年を形にしていくのか。そのことを考えることこそが、このセ

ミナーの大きな目的であります。

また本日は、田中久夫様（高崎ロータリークラブ）による「そうだったのか!?ロータリークラブ!!」と題したご講演も予定されております。ロータリーについてあらためて理解を深める貴重な学びの機会になるものと思っております。さらにその後、地区の委員会による分科会が予定されています。それぞれの分野における取り組みや考え方に触れながら、自クラブの運営についての学びを深めていただければ幸いです。

本日一日が、皆さまにとって実り多い学びの機会となり、その学びがそれぞれのクラブに持ち帰られ、次年度のクラブ運営に活かされていくことを願い、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いたします。





## 歓迎の言葉



ホストクラブ会長

稲垣 宏高

皆さま、本日はご多用の中、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございます。ホストクラブを代表いたしまして、心より感謝申し上げます。

本日はここに、次年度に向けた大切な準備の場であるクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーを開催できますことを、大変光栄に存じます。

日頃より地区の発展のためご尽力いただいておりますガバナーをはじめ、地区役員の皆さま、そして各クラブの会長・幹事・委員長の皆さまに、深く敬意と感謝を申し上げます。

ロータリーは、1905年にポールハリスによって創設されて以来、「超我の奉仕」の精神の元、世界中で奉仕活動を続けてまいりました。そして現在、私たちは国際ロータリーの一員として、地域社会のみならず、世界に向けて様々な課題解決に取り組んでおります。このセミナーは、単なる会議の場でなく、志を同じくする仲間が学び、語り合い、次年度への決意を新たにできる場です。ここでの学びと交流が、それぞれのクラブの活動をより充実させ、地域社会へのより大きなインパクトへと繋がっていくことを確信しております。

ホストクラブといたしましては、本日ご参加の皆さまが、有意義な時間をお過ごしいただけますよう、精一杯準備を進めてまいりました。行き届かぬ点もあると存じますが、どうぞ寛容を

たまわり、活発な討議と実り多い一日としていただければ幸いです。

ロータリーの魅力は、多様な職業・世代・価値観を持つ仲間が、奉仕という共通の目的のもとに集い、互いに尊重し合いながら成長できるところにあります。本日のセミナーが、皆さまにとって新たな気づきと友情を深める機会となりますことを心より願っております。

結びに、本日のセミナーが成功裏に進み、次年度の地区運営が力強くスタートできますことを祈念申し上げ、歓迎の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。





## 次期地区ラーニングファシリテーター 挨拶



次期地区ラーニングファシリテーター

酒井 法丈

皆さん、こんにちは。

本日はご多用の中、「クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー」にご出席いただき、誠にありがとうございます。「きたる年度における各クラブのリーダーの皆さん」は、その役割を真摯に受け止め、その責任を果たそうという思いで、ここに集って頂いていると拝察いたします。心より敬意と感謝を申し上げる次第です。クラブをより活性化させ、魅力あるクラブにするか否かは、皆さん次第である、と言っても過言ではないでしょう。大いに期待します。私は、次期地区ラーニングファシリテーターを務めさせていただきます、豊田ロータリークラブの酒井です。よろしくお願いいたします。地区ラーニングファシリテーターの役割は、クラブリーダーと会員に学びの機会を提供するために、ガバナーを支援することが大きな役割と考えています。ガバナーと共に適切な環境作りを心がけていくつもりです。ご協力・ご支援の程よろしくお願いいたします。本セミナーは、知識や情報を一方的に受け取る場ではなく、これから始まる一年をより良いものにするために、共に考え、学び合う場です。

次期という立場だからこそ、今感じておられる期待や不安、疑問は、決して特別なものではなく、むしろ自然なものだと思います。今日この場には、経験や背景の異なる皆さんが集まっていますが、「より良いロータリーを築きた

い」という思いは同じです。ぜひ遠慮なさらず、感じていることや考えていることを言葉にしてください。その一つひとつが、ここにいる誰かの気づきや支えにつながります。本日の学びでは、「正解を覚えること」よりも、「自分なりの軸を見つけること」、そして「来期、どんなクラブ運営をし、クラブをどう導いていくか」を考えることを大切にさせていただきたいと思います。限られた時間ではありますが、皆さまの積極的なご参加が、本セミナーをより実りあるものにします。本日の学びが、来期の活動への自信とヒントにつながることを願っております。「クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー」、よろしくお願いいたします。





## ガバナーエレクト所信表明



ガバナーエレクト

國府谷 俊盛

皆さん、こんにちは。2026-27年度ガバナーを務めさせていただき、名古屋東ロータリークラブの國府谷俊盛です。

三大研修の締めくくりであるクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーが鈴木康仁ガバナーのもと、津島ロータリークラブ様のホストで盛大に開催されますことに感謝申し上げます。

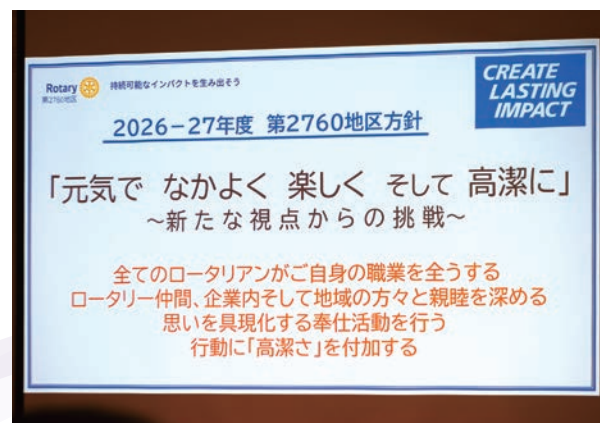
ガバナーはじめ、パストガバナー、次期ガバナー補佐、次期委員長のご協力のもと、各ラーニングが本日までに円滑に展開されましたことにも重ねて御礼申し上げます。

2026-27年度国際ロータリー会長に就任される方はナイジェリアのオラインカ・ババロラ氏です。ローターアクトからロータリアンになられた生粋のロータリアンです。インカ会長は「持続可能なインパクトを生み出そう」とのメッセージを掲げられました。

2025-26年度のメッセージ「よいことのために手をとりあおう」を手段とし、そこから生み出された事業を、未来永劫に継承される「インパクトある形」にしようという継続的なメッセージと理解しました。さらに、インカ会長は個人の変容について言及され、「自分自身の中に持続可能な変化をどう生み出しているのだろう」と問いかけられました。

このメッセージをうけ、2026-27年度の地区テーマを「元気で なかよく 楽しく そして高潔に」とさせていただきます。

全てのロータリアンが「元気で」ご自身の職業を全うされること。また企業内、地域の方々との親睦を深め、「なかよく」、そして「楽しく」活動されることを願います。こうした行動に「高潔さ」を付加することがロータリアンの姿と思います。

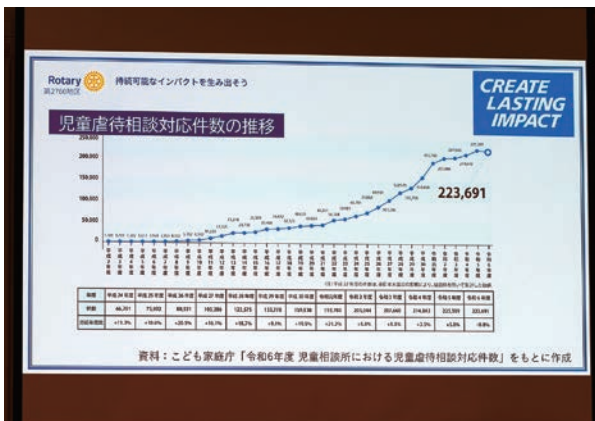


活動方針の中で重点としたいことを時間の都合上、一つだけ申し述べます。

「日本の子どもたちのために」を一つのテーマにします。日本は「子どもの権利条約」を批准していますが、各種の統計からその現状は惨憺たるものです。日本の現状をご理解いただき、各クラブでの奉仕活動に反映させてください。

ロータリーの最優先事項はポリオの根絶です。ラストマイルとなっていますが、ポリオは根絶しなければ意味がありません。各クラブでのドネーション活動を基盤とし、新たな形で展開するRDFにご協力をお願い申し上げます。

バタフライエフェクトという言葉があります。小さな蝶の羽ばたきがハリケーンになるか、を検証しようとした気象学者に端を発した言葉です。私たちの活動は地球規模から見れば、蝶の羽ばたきにも満たない事かと思いますが、インカ会長とともに「持続可能なインパクトを」生み出そうではありませんか。2026-27年度が素晴らしい一年になりますようにご理解、ご協力をお願い申し上げ、所信表明とさせていただきます。ありがとうございました。





## 2026-27年度 地区大会ご案内



2026-27年度 地区大会実行委員長

山田 慎也

皆様、こんにちは。

本日は貴重なPRのお時間をいただき誠にありがとうございます。地区大会実行委員長の山田慎也です。昨年4月シカゴでのRI規定審議会で"地区大会の開催は義務ではなくなる"という議案が承認されました。これはつまりガバナーの裁量で地区大会を進めることが出来ると言う事です。本年度は國府谷ガバナーエレクトの意向を尊重して従来の2日間開催から1日開催へと新しい形で実施いたします。限られた時間ではありますが、その分内容を凝縮し充実した時間となるよう準備を進めております。地区大会は私達がロータリアンとして団結し、世

界に希望を生み出すためのエネルギーを充電する大切な場です。新入会員の皆様にとっても、ロータリーの広がりを感じて絶好の機会となります。私はこの大会を、喜び・学び・友愛の共有を目指して大会を盛り上げていきます。

最後に、名古屋栄ホストクラブ会員一同、皆様とエスパシオキャッスルの地でお会いできる事を心より楽しみにしております。

是非、多くの会員様お誘い合わせの上でご登録をお願い申し上げPRのご挨拶と致します。

ありがとうございました。



Rotary 持続可能なインパクトを生み出そう  
第2760地区

2026-27年度 国際ロータリー第2760地区  
**地区大会のご案内**

日時 2026年11月14日(土)  
会場 エスパシオ ナゴヤキャッスル

ホストクラブ 名古屋栄ロータリークラブ



## 特別講演



国際ロータリー第 2840 地区パストガバナー  
(高崎ロータリークラブ所属)

田中 久夫 氏

講演者は元ガバナーの田中氏で、自身の著書『そうだったのか!?ロータリークラブ!!』の内容を交えながら、選ばれるクラブになるための条件や、リーダーの在り方についてユーモアを交えて語って頂きました。

### 導入：最近の講演活動と「忘れられない出来事」

皆さん、こんにちは。たくさんの方に迎え入れていただきありがとうございます。今年は1月から数えて今日が14回目の講演になります。1週間前は鎌倉、その前は東京、茨城と回ってきました。

中でもちょうど1ヶ月前、山口県長門市の湯本温泉での出来事は忘れられません。安倍首相とプーチン大統領が会談した「大谷山荘」の近くの旅館で講演した際、お風呂に入っている間に、私の下着から浴衣まで全部盗まれてしまったのです。

犯人は私と同じくらいの年齢の男性で、あろうことか私の下着まで全部履いていました。「俺のはなくなったから、お前のもらった」とわけのわからないことを言うのです。結局、旅館の人に新しい浴衣を持ってきてもらいましたが、その男は名古屋から来たバスツアー客でした。名古屋の方、大観光旅館の大浴場ではロッカーを使いましょう(笑)。

### 講演テーマ：選ばれるクラブになるために

本日のテーマは、著書と同じ「そうだったのか!?ロータリークラブ!!」です。スライドは70枚用意しましたが、45分では到底終わり

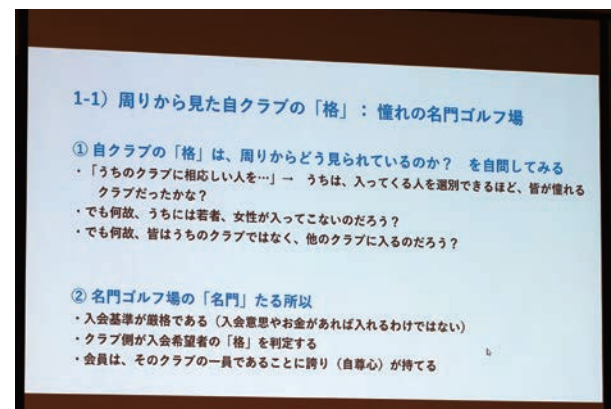
ません。途中までお話して、残りは私の本を読んでいただくということで……(笑)。この本はクリスマス・イブに出版し、1ヶ月で3,000部売れました。

### 1. クラブは「選ばれる側」である

大事なことは、これから入ろうとする人は「どのクラブに入るか」の決定権を持っているということです。私たちは選ばれる側の立場にあります。

名門の条件：愛知県で言えば「名古屋ゴルフ・クラブ」のような名門は、お金を払えば誰でも入れるわけではありません。「この人なら入ってほしい」とクラブ側が判断するからこそ名門なのです。

京都南 RC の例：現在、京都で一番人気があるのは「京都南ロータリークラブ」です。会員数250名に対し、50名が空きを待っている状態です。年会費は90万円(月5万円+寄付等)と高額ですが、それでも入りたいと思



わせる「格」があるのです。

## 2. クラブを育てる3つの要素：水・土・種

お花を育てるのに「水・土・種」が必要なように、クラブ運営にも3つの要素があります。

要素 ロータリーにおける意味 役割

土 クラブの文化・居心地 種をまく土壌。親睦やインクルージョンの雰囲気。

種 新会員（ダイバーシティ）新しい感性を持つ仲間。素直で楽天的な人が望ましい。

水 現会員の資質（エクイティ）新会員に注ぐ水の質。寛容で公平な配慮。

## リーダーと会員の在り方

駄目な会長の5つのタイプ

無責任型：1年を無難にやり過ごせばいいと考える。

言い逃れ型：量より質だと言って、会員増強から逃げる。

自己中型：自分がいる間だけ楽しければいい。

保身型：新しい人が入ると今の和が乱れると恐れる。

定員固執型：勝手に決めた定員を理由に門戸を閉ざす。

## 「老害」にならないために

シニア会員（私も含めて）が気をつけるべき「老害」の定義は2つあります。

自分のことをいつも正しいと思い込んでいる。

自分に意見する人を「生意気だ」と思う。

老害の特徴：

人の話を聞かない、話が長い、説教臭い。

古い価値観を押し付け、年上というだけで威張る。

自分が間違っているとしても絶対に謝らない。

## 漢字で見る「ロータリアン」の2つの姿

シニアになっても、どちらの「ロータリアン」であるべきかは明白です。

### 悪い「老太狸暗」

老：自分のことだけに執着する。

太：口先だけで行動が伴わない。

狸：汗をかかないように振る舞う狡猾な人。

暗：周囲を暗くする負のオーラを持つ人。

### 良い「朗多利安」

朗：明るく、みんなから慕われる。

多：多くの友人に囲まれ、信頼されている。

利：周囲に利益をもたらし、皆を幸せにする。

安：いるだけで周囲が安心する、愛情あふれる人。

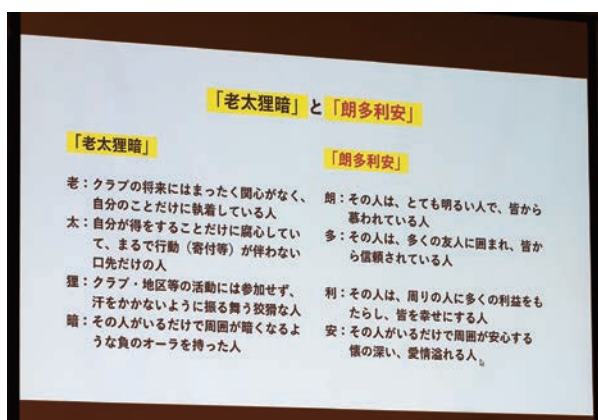
## 結び：新会員への接し方

ジェニファー・ジョーンズ（初の女性RI会長）は、「雑草に水はやらなくていい。花を咲かせる植物に水をやりなさい」と言いました。クラブに貢献しない「雑草」にかかる時間があるなら、新しい「花」を育てるべきだという意味です。

また、新会員を入れる際は必ず面接をしてください。あえてプレッシャーを与え、「5人の中から受かったのはあなただけだ」と伝えることで、クラブに対する所属意識（ピロッキング）が高まるのです。

最後になりますが、シニアの役割は「口は出さない、金は出す」。これに尽きます。そうすれば若手からも可愛がられる存在になれるはずです。

講演はロータリーの本質を突いた非常に密度の濃い内容でした。



# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第1・2分科会次第

[テーマ]

元気で なかよく 楽しく そして 高潔に  
～ 新たな視点からの挑戦 ～

司会／佐治 勝(名古屋東RC)

プログラム	分科会 役職	役職	氏名
<b>1</b> 元気で なかよく 楽しく そして 高潔に ～新たな視点からの挑戦～	DGE L	ガバナーエレクト	國府谷 俊盛 (名古屋東RC)
<b>2</b> 各クラブの想いを一つに ー ロータリードネーションフェスタ	PDG	パストガバナー 次期 RDF 実行委員長	吉川 公章 (名古屋南RC)
<b>3</b> Missing JAPAN PORTAL SITE ～ 知らなかったでは損します ～	PDG	パストガバナー 地区行動計画推進リーダー	伊藤 靖祐 (江南RC)
<b>4</b> ロータリーの危機管理について	L	次期危機管理委員長	中山 信義 (名古屋錦RC)
<b>5</b> RLI とファシリテーターについて	L	次期地区ラーニング副委員長	森井 晴生 (尾張旭RC)
<b>6</b> 会員増強について	L	次期会員増強委員長	木所 壮太 (豊橋東RC)
<b>7</b> まとめ・講評		次期ガバナー補佐	夏目 工 (新城RC)
<b>8</b> 閉会の辞		次期筆頭地区副幹事	佐治 勝 (名古屋東RC)





## 第1・2分科会報告



次期会員増強委員長

木所 壮太

第1・2分科会は、「元気でなかよく楽しくそして高潔に ～新たな視点からの挑戦～」を分科会のテーマに開催されました。

國府谷俊盛 ガバナーエレクト

「元気でなかよく楽しくそして高潔に ～新たな視点からの挑戦～」

クラブの核となる次年度の会長や各委員長を対象に、次年度の地区活動方針について様々な気づきを得て各クラブに持ち帰っていただく分科会である旨をご説明頂きました。

吉川公章 次期 RDF 実行委員長

「各クラブの想いを一つに — ロータリードネーションフェスタ」

ポリオ根絶に向けたこれまでの歴史と現状について触れられ、各クラブ主体の寄付活動が大きな成果を上げていることを評価されました。わずか24円で一人の子供の命を救える意義を強調され、さらなる活動推進のため、次年度に開催予定の「ロータリアードネーションフェスタ」への積極的な参加と協力を呼びかけられました。

伊藤靖祐 地区行動計画推進リーダー

「Missing JAPAN PORTAL SITE ～知らなかったでは損します～」

ロータリーの行動計画を各クラブで実践するためのツールとして、「JAPAN PORTAL SITE」の具体的な活用方法についてご説明頂きました。3年間継続するローリング目標の確認や、クラブの健康度チェック、現状データの閲覧手順などを実演されました。さらに、My ROTARYのラーニングセンターを用いた各種研修の受講方法など、実践的な行動計画の進め方についてご説明頂きました。

中山信義 次期危機管理委員長

「ロータリーの危機管理について」

2004年の大阪世界大会での事件を契機とした危機管理委員会の設立経緯についてご説明頂きました。青少年保護やハラスメントに関する方針、事案発生時のクラブおよび地区の責任、72時間以内の報告義務などについてご説明頂きまし

た。具体的なモデルケースを提示し、ハラスメントに対してはゼロ・トレランス（一切容認しない）方針で臨み、適切な対応を取るべきであると呼びかけられました。

森井晴生 次期地区ラーニング副委員長

「RLIとファシリテーターについて」

ロータリーの研修が、従来の正解を教える「トレーニング」から、参加者が対話を通じて自ら気づきを得る「ラーニング」へと移行している背景についてご説明頂きました。RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）の各パートを通じて、会員同士が学び合い、ファシリテーターがその学びを支援することで、クラブの活性化や持続可能性を高めていくことの重要性についてご説明されました。

木所壮太 次期会員増強委員長

「会員増強について」

会員の減少と退会防止が当地区の喫緊の課題である現状を踏まえ、田中久夫パストガバナーの著書や取り組みを紹介しながら会員増強のノウハウについてご説明頂きました。「入会促進」、「参加促進」、「新クラブ結成推進」の3つのポイントを挙げ、女性会員や若手会員の増強による多様性の確保と、帰属意識を高める環境づくりの重要性についてご説明頂きました。

夏目 工 次期東三河分区分ガバナー補佐

「まとめ」

第1・2分科会のまとめとして、本日の分科会で得られたポリオ根絶、行動計画、危機管理、ラーニング、会員増強といったテーマに関する多くの気づきを持ち帰り、次年度の各クラブでの運動展開や活性化に活かしていくよう呼びかけられました。



# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第3分科会次第

[テーマ]

## ロータリーの公共イメージの目的を考えよう

司会／藤原 浩章(名古屋東RC)

プログラム	分科会 役職	役 職	氏 名
<b>1</b> 開会の辞		次期地区スタッフ	小林 靖浩 (名古屋東RC)
<b>2</b> リーダー挨拶	L	次期公共イメージ向上委員長	古市 晃久 (半田RC)
<b>3</b> フリートーク ～ロータリーの公共イメージ向上とは?～	AL	次期公共イメージ向上副委員長	加藤 雄一郎 (岡崎RC)
<b>4</b> ロータリーの公共イメージ 向上について	AL	次期公共イメージ向上副委員長	小笠原 徹之 (高浜RC)
<b>5</b> MyROTARY の登録と活用	AL	次期公共イメージ向上副委員長	真野 寿樹 (稲沢RC)
<b>6</b> ロータリーの友について		次期ロータリーの友 地区代表委員	池森 由幸 (名古屋千種RC)
<b>7</b> まとめ・講評		次期ガバナー補佐	鈴木 宏司 (半田南RC)
<b>8</b> 閉会の辞		次期地区スタッフ	小林 靖浩 (名古屋東RC)





## 第3分科会報告



次期公共イメージ向上委員長

古市 晃久

第3分科会では「ロータリーの公共イメージの目的を考えよう」というテーマで開催しました。

まず初めに、小林次期地区スタッフより開会の挨拶、続いて古市次期委員長よりリーダー挨拶がありました。

次に「フリートーク」の時間を設けました。席の近い人同士で、グループディスカッションを行い、公共イメージ向上について思うこと、公共イメージを向上させる必要性について話し合ってもらいました。その後、各グループの発表を行っていただいたうえで次の内容に進んでいただく予定ということもあり、ディスカッションでは各グループならではの話題が発表され大変充実した内容だと感じました。

次に小笠原次期副委員長よりロータリーの公共イメージ向上についての卓話をパワーポイントにて説明していただきました。内容は、1. 公共イメージ向上とは 2. ロータリーの公共イメージ向上の必要性（目的） 3. 公共イメージを向上させる方法 4. 地区公共イメージ向上委員会の活動内容でした。『公共イメージ』の定義についての説明の後、なぜ公共イメージを向上させる必要があるのかを参加者に問いかけ、そして公共イメージ向上のための具体的な方法を説明しました。事前にフリートークで参加者の皆さんが話していた内容との相違を確認しながら聞いていただくことができました。初めて公共イメージ向上委員会に携わる人に対しても伝わりやすい内容だと感じました。

「My ROTARY の登録と活用」では、真野次

期副委員長が、参加された各クラブの担当者に My ROTARY への登録を推進していただくようお願いしました。登録だけでなく活用していくために、My ROTARY にはロータリーの理念や、プロジェクトの立ち上げ方など困ったときに役に立つ情報が多く掲載されているということを紹介しました。

次に「ロータリーの友」について、池森ロータリーの友次期地区代表委員から、ロータリーの友はロータリアン向けの情報誌であるがこれらの情報を世の中にどのような手段で誰が伝えるのが今後の課題であることをお伝えした。電子媒体はこれまでのロータリーの友がアーカイブになっており、検索機能も充実しているため、ぜひご活用いただきたいということをお話ししました。

最後に鈴木次期ガバナー補佐より、ロータリーにとっての公共イメージの大切さ、今回の学びを会員一人一人が実践することが重要だといった主旨のご講評をいただきました。



# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第4分科会次第

[テーマ]

## 元気で、なかよく、楽しく、国際奉仕活動をしよう!

司会／鏡 哲也(名古屋東RC)

プログラム	分科会 役職	役職	氏名
<b>1</b> 開会の辞		次期地区スタッフ	陰地 豪 (名古屋東RC)
<b>2</b> リーダー挨拶	L	次期国際奉仕委員長	鈴木 拓将 (名古屋宮の杜RC)
<b>3</b> アシスタントリーダー挨拶	AL	次期地区ロータリー奉仕副委員長	日野 典子 (愛知長久手RC)
<b>4</b> アシスタントリーダー挨拶	AL	次期分区幹事	平山 文生 (西尾KIRARARC)
<b>5</b> 国内でできる国際奉仕活動	AL	次期国際奉仕副委員長	筒井 健 (岡崎城南RC)
<b>6</b> 海外でできる国際奉仕活動	AL	次期国際奉仕副委員長	江松 央統 (名古屋名南RC)
<b>7</b> 質疑応答・意見交換	L	次期国際奉仕委員長	鈴木 拓将 (名古屋宮の杜RC)
<b>8</b> まとめ・講評		次期ガバナー補佐	榊原 章 (西尾KIRARARC)
<b>9</b> 閉会の辞		次期地区スタッフ	陰地 豪 (名古屋東RC)





## 第4分科会報告



次期国際奉仕委員長

鈴木 拓将

第4分科会は地区内84全てのクラブで国際奉仕活動を行ってもらうことを目的に、様々な国際奉仕活動の在り方を紹介させていただきました。

まずは鏡次期地区副幹事の司会のもと陰地次期地区スタッフの開会のご挨拶で分科会をスタートしました。

私からこの会の主旨や目的についてお話させていただき、日野次期地区ロータリー奉仕副委員長より地区ロータリー奉仕委員会の役割や地区国際奉仕委員会の役割などをお話いただきました。続いて平山次期分区幹事からは自クラブである西尾 KIRARA さんのやられている国際奉仕活動を例えに挙げていただきこれからの国際奉仕活動の考え方についてご挨拶いただきました。

そして筒井次期国際奉仕副委員長より「国内でできる国際奉仕活動」について様々な事例をもとに紹介していただきました。地区国際奉仕委員会では3年前から海外だけでなく、国内でできる国際奉仕活動について推奨してきました。外国人労働者が多くなっている現在、その方々を巻き込んだ街づくりをしていくことが国際奉仕活動に繋がることをお伝えしました。

次に江松次期国際奉仕副委員長より「海外でできる国際奉仕活動」について紹介していただきました。海外での国際奉仕活動はお金がかかること、海外の繋がりが無いなど活動することが大変難しいです。国際奉仕委員会では昨年カンボジアの学校を紹介し、豊田・東南・名南の3クラブの保健室寄贈活動支援をさせていただきました。

した。後進国の学校にはまだ保健室がありません。保健の先生もいないのですが、保健室がないため子どもたちの成長記録がありません。定期的に身長や体重を測ったり、気分の悪い時に少し横になれるベッドがあるだけでいいのです。10万円～20万円の予算で海外の学校と繋ぎ、保健室を寄贈するお手伝いをさせていただく事を伝えさせていただきました。

最後にまとめ・講評として榊原次期ガバナー補佐よりクラブだけで考えず、地区の関係した委員会を活用していくメリットや、国際交流と奉仕活動の違い、海外だけではない国際奉仕の在り方など様々な視点から参加された皆様へアドバイスをいただきました。

これをスタートに1つでも多くのクラブが楽しい国際奉仕活動ができるよう1年間しっかり支援させていただきますので、どうぞ地区国際奉仕委員会をご活用ください。ありがとうございました。



# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第5分科会次第

[テーマ]

## 新たな視点で、次への挑戦 ～ 四つのテストと超我の奉仕の実現 ～

司会／寺尾 洋太(名古屋東RC)

プログラム	分科会 役職	役 職	氏 名
1 開会の辞		次期地区副幹事	寺尾 洋太 (名古屋東RC)
2 リーダー挨拶	L	次期社会奉仕委員長	八木 生義 (名古屋東RC)
3 リーダー挨拶	L	次期職業奉仕委員長	加藤 徹 (あまRC)
4 リーダー挨拶	L	次期地区ロータリー奉仕 副委員長	佐々木 利政 (豊橋RC)
5 リーダー挨拶	L	次期地区ロータリー奉仕 副委員長	加藤 厚 (名古屋昭和RC)
6 社会奉仕について	AL	次期社会奉仕副委員長	加藤 健 (名古屋守山RC)
7 環境保全について	AL	次期社会奉仕副委員長	片平 博己 (江南RC)
8 RCC について	AL	次期社会奉仕副委員長	高橋 信郎 (瀬戸RC)
9 四つのテストと職業奉仕	AL	次期職業奉仕副委員長	倉内 勝広 (名古屋守山RC)
10 四つのテストに照らした 会社案内	L	次期職業奉仕委員長	加藤 徹 (あまRC)
11 各クラブ職業奉仕 委員長へのご依頼	AL	次期職業奉仕副委員長	岩村 幸正 (春日井RC)
12 質疑応答			
13 まとめ・講評		次期ガバナー補佐	加藤 久雄 (名古屋葵RC)
14 閉会の辞		次期地区副幹事	寺尾 洋太 (名古屋東RC)



## 第5分科会報告



次期社会奉仕委員長

八木 生義



本セミナーは、次年度に向けたクラブ運営の理解促進および各委員会活動の充実を目的として、社会奉仕委員会と職業奉仕委員会の共同により開催いたしました。各クラブより多数のご参加をいただき、活発な学びと交流の機会となりましたことに、心より御礼申し上げます。

開会にあたり、地区社会奉仕委員長 八木より、社会奉仕の意義と本セミナー開催の目的について挨拶を行い、続いて加藤職業奉仕委員長より、職業奉仕の視点から本セミナーの重要性について説明がなされました。また、本年度の共通テーマである「新たな視点で、次への挑戦」並びに「四つのテスト」と「超私の奉仕」の実現について共有され、両委員会が連携して取り組む意義を確認したうえで、セミナーは開始されました。前半では、社会奉仕委員会より、地区社会奉仕委員会の役割と具体的な活動内容について説明を行いました。地区内各クラブの社会奉仕活動が円滑かつ効果的に実施されるよう、委員長会議の開催、各クラブへ訪問しての卓話、年度末における活動報告の取りまとめおよび地区サイトへの掲載などを通じて、情報提供と支援を行っていることを紹介いたしました。さらに、各クラブの取り組みを共有することにより、新たな発想や気づき生まれ、活動の質の向上とクラブ間の連携強化につながる「好循環」が生まれることの重要性についても説明いたしました。情報共有は単なる報告ではなく、次の活動を生み出すための重要なプロセスであることを改めて認識する機会となりました。また、社会奉仕は特定の委員会にとどまらず、国際奉仕・職業奉仕・青少年奉仕すべてに通じるロータリーの根幹であることを強調いたしました。その実践の指針として、「四つのテスト」—「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」—を常に意識すること、そして「超私の奉仕」の精神に基づき、自己を超えて他者のために行動することの重要性について共有いたしました。後半では、職業奉仕委員会より、職業奉仕の基本的な考え方と実践事例について説明が行われました。各自の職業を通

じて社会にどのように貢献するかという視点から、倫理観と責任ある行動の重要性が示されました。特に「新たな視点で、次への挑戦」というテーマのもと、従来の枠にとらわれない発想で職業奉仕を実践していく必要性が強調されました。

さらに、「四つのテスト」を会社経営に当てはめ、経営判断・社員教育・顧客対応といった具体的な場面において実践することの重要性が共有されました。意思決定においては透明性と公平性を重視し、社員教育においては誠実さと倫理観を育み、顧客対応においては相手の立場に立った行動を徹底することが、信頼される企業づくりにつながるの考えが示されました。そして、その根底には「超私の奉仕」の精神、すなわち自己の利益を超えて社会や他者のために尽くす姿勢があることが強調され、職業奉仕の本質に対する理解が一層深まる内容となりました。また、社会奉仕と職業奉仕が相互に補完し合いながら、ロータリー活動全体を支えていることが改めて確認されました。本年度のテーマに基づき、各クラブにおいても従来の活動を見直し、新たな発想を取り入れることで、より効果的な奉仕活動へと発展させていくことの重要性についても呼びかけを行いました。特に、活動の積極的な発信により、その価値が共有され、他クラブの新たな挑戦へとつながることが期待されます。

本セミナーを通じて、参加者の皆様が社会奉仕および職業奉仕への理解を深め、次年度に向けた具体的な行動への意識を高めていただけたものと確信しております。今後も、社会奉仕委員会および職業奉仕委員会が連携し、各クラブの活動支援と地区全体の奉仕活動のさらなる発展に努めてまいります。



# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第6分科会次第

[テーマ]

## ロータリー財団を学んで理解しよう!

司会／津坂 守英(名古屋城北RC)

プログラム	分科会 役職	役 職	氏 名
1 開会の辞		次期ロータリー財団副委員長	津坂 守英 (名古屋城北RC)
2 リーダー挨拶	L	次期ロータリー財団委員長	江川 泰彦 (名古屋清須RC)
3 ポリオ根絶に向けて	AL	次期ポリオプラス/ 職業研修チーム委員長	田中 一成 (名古屋守山RC)
4 ロータリーのクレジットカード		次期ロータリー財団副委員長	藤野 直子 (名古屋名東RC)
5 資金管理	PDG	パストガバナー 次期資金管理委員長	酒井 法丈 (豊田RC)
6 寄付と認証	AL	次期資金推進委員長	宮田 勇人 (岡崎RC)
7 補助金	AL	次期補助金委員長	柴田 征充 (豊田RC)
8 奨学生	AL	次期グローバル奨学生・ 平和フェロー委員長	長瀬 廣幸 (名古屋みなとRC)
9 職業研修チーム	AL	次期ポリオプラス/ 職業研修チーム委員長	田中 一成 (名古屋守山RC)
10 補助金利用に際しての 基本事項		次期ロータリー財団会計長	鈴木 康生 (豊田RC)
11 まとめ・講評		次期ガバナー補佐	大野 東秀 (尾張中央RC)





## 第6分科会報告



次期ロータリー財団委員長

江川 泰彦

第6分科会では、約128名の方にご参加いただき、【ロータリー財団を学んで理解しよう!】のテーマで分科会を開催させていただきました。

次期財団委員長リーダー挨拶では、財団を身近に感じていただく思いでご理解とご協力また財団プログラムの運営にあたり多大なご寄付と活用にお礼申し上げアシスタントリーダーの寄付活動内容の報告に繋げてお礼も申し上げます。

恒久基金の寄付は投資され利用可能な収益の一部が毎年、役立てたいと考える財団プログラムの長期的な安定と財源が確保され現在支援している活動を永く支援することが可能になります。また寄付先も国際活動資金・シェア・重点分野と寄付用途を指定できます。

26-27年度より恒久基金のお一人あたり20ドルの地区目標の変更が大きく変わりロータリアンの恒久基金の理解をして頂き恒久基金の安定と枯渇することがないように無理のない範囲で1歩ずつ積み重ねのお願いをしました。

恒久基金とは、その名のとおおり、未来のロータリーへ活動資金を引き継ぐための基金です。

ご寄付いただいた元金は使わず、運用益のみを活用することで、何年先、何十年先も、平和、教育、水と衛生、疾病予防など、ロータリーの奉仕活動を支え続けます。

私たちの思いを「未来への贈り物」として残す仕組みが、この恒久基金です。

各アシスタントリーダーよりポリオプラスではロータリー最優先でのポリオ根絶や啓蒙活動の取り組みや現状報告と世界ポリオデー（WPD）や各イベント、次年度からロータリードネーションフェスタでの寄付活動の推進もされポリオの現状が理解できたと思います。

ロータリーカードではクラブ内でカードを保有して頂き、例会運営費や人頭分担金・寄付金で利用例の話がされ大変関心がありました。2月の補助金管理セミナーアンケートで多数のクラブから申し込みの回答があり財団としても大変嬉し

く思います。

資金管理から授与と受託の条件に適合しMOUのサインの重さを感じていただき公金の意識をもっていただきました。ポール・ハリス・ソサエティ・ポリオプラス・ソサエティの皆様には財団の活動や報告をニュースレターで定期的に配布しています。寄付認証の推進と登録数を願いました繰り返しになりますが年次基金・ポリオ・恒久基金のご協力もお願いして補助金の申請書や報告書のルール化を改めて説明されました。地区補助金・グローバル補助金の地域の活性化や持続可能な事業も併用してお伝えしました。

グローバル奨学生の近況報告や新しく地区補助金奨学生もプログラムとして始まりました。ロータリー財団本部直接支給の奨学金プログラムロータリー平和フェロウシップも第2760地区より5名の奨学生も紹介しました。

職業研修チームの母子の健康・教育と識字率の向上での保健室の設置や養護教員の育成のあらたな第2760地区のVTT事業の取り組みも関心をもたれました。

まとめとして次年度大野ガバナー補佐より寄付の用途や財団の取り組みのご理解とご協力をお願いしていただきました。

参加された方には貴重なお時間を頂き、財団を少しでも理解され関心いただき有意義な分科会を閉じさせていただきました。



# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第7分科会次第

[テーマ]

## 青少年奉仕は楽しく高潔に・・・

司会／浅見 敏範(名古屋東RC)

プログラム	分科会 役職	役職	氏名
1 開会の辞		次期地区副幹事	浅見 敏範 (名古屋東RC)
2 リーダー挨拶	L	次期地区ロータリー奉仕委員長	澤田 文雄 (豊田東RC)
3 アシスタントリーダー挨拶	AL	次期地区ロータリー奉仕 副委員長	藤田 守彦 (名古屋丸の内RC)
4 インターアクトについて	AL	次期インターアクト委員長	朝比奈 幸生 (豊田RC)
5 RYLA について	AL	次期 RYLA 委員長	竹内 幹尚 (豊川RC)
6 青少年交換について	AL	次期青少年交換委員長	福田 功二 (豊田RC)
7 学友について	AL	次期学友委員長	大橋 均 (知立RC)
8 ローターアクトについて	AL	次期ローターアクト委員長	柳原 茂 (豊橋RC)
9 質疑応答			
10 まとめ・講評		次期ガバナー補佐	加藤 謙一 (名古屋宮の杜RC)
11 閉会の辞		次期地区副幹事	浅見 敏範 (名古屋東RC)





## 第7分科会報告



次期地区ロータリー奉仕委員長

澤田 文雄

次期地区ロータリー奉仕委員長 澤田文雄

皆さんこんにちは。次年度も地区青少年奉仕委員長を務めます澤田です。青少年奉仕は五大奉仕の一つであり、他の奉仕と深く関わりながら、ロータリーの理念を次世代へつなぐ重要な役割を担っています。國府谷ガバナーエレクトの方針「元気で仲良く 楽しく そして 高潔に」のもと、奉仕の精神を大切に、やりがいと楽しみを持って活動してまいります。コンプライアンスを遵守しつつ、青少年の学びと出会いの機会を支えてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

次期地区ロータリー奉仕副委員長 藤田守彦

ご紹介いただきました、地区ロータリー奉仕副委員長の藤田でございます。今年度はローターアクトとRYLAを担当いたします。五大奉仕の一つである青少年奉仕の理解を深めるためにも、ぜひローターアクトやRYLAの活動に積極的に関わっていただき、学びの機会としていただければ幸いです。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

次期インターアクト委員長 朝比奈幸生

①インターアクトクラブの活動目的・内容、②当地区全体の状況、③インターアクト委員会の活動目的・内容、④次年度の事業内容・スケジュールについて説明を行いました。また、春日丘高校3年根本珠光さん、大成高校2年村上悠大さんが、日頃の実際の活動内容についてパワーポイントを活用した素晴らしいプレゼンを行い、参加者の反応も大変好評でした。

次期RYLA委員長 竹内幹尚

第35回ロータリー青少年指導者養成(RYLA)セミナーは2027年3月20～21日に開催予定。次年度委員長として基本構想を示した。本構想は、人が変わる契機を創出することを目的とし、短期集中ながら深い対話と内省を通じて人間力を育成する。対象は16～30歳の多世代で、同世代の安心感と異世代の刺激を融合する。セミナー後も継続的な活動や交流を通じ、地域社会に貢献するリーダー「RYLArian」育成を目指す。

次期青少年交換委員長 福田功二

ロータリー青少年交換事業の目的や仕組み、3年間にわたるプログラム内容(候補生・派遣・帰国後)について理解を深めました。あわせて、クラブの役割や受入体制、青少年保護の重要性、現状の課題についても共有され、今後の事業推進に向けた認識を高める有意義な機会となりました。

次期学友委員長 大橋 均

愛知ロータリー学友会は、RIの認証を受けた、ロータリーの地区青少年プログラムを終了した、学友の集まりです。コミュニティの場として、学友同士が、あるいは、ロータリーと共に、親睦を深める場として、活動していきます。また、青少年のボランティア活動にも一緒に参加しています。そして、この活動を支えるのが学友委員会です。青少年プログラムの提唱クラブの役目も持っています。ロータリーメンバーの更なる支援をお願いいたします。

次期ローターアクト委員長 柳原 茂

ローターアクトは、2020年以降、青少年奉仕プログラムから外れ、国際ロータリーの会員です。地区内では7つの地域社会基盤、2つの大学基盤の計9つのクラブで総勢131人が活動し、34のスポンサーRCからご支援いただいています。米本直樹地区RA代表のもと、「ゆうわ」をテーマに活動していきます。会員増強をボランティアサイト・SNSによる募集、インターアクトからの移行、企業派遣、新クラブ創設で進めますのでご協力をお願いします。

講評 次期ガバナー補佐 加藤謙一

本日は3点お伝えいたします。まず、青少年事業は皆様の地区人頭分担金によって成り立っています。ロータリアンとして、その意義を自信を持って発信してください。次に、私自身も地区協会で青少年奉仕の魅力に触れ、ご縁をいただきました。ぜひ本日の内容をクラブへ持ち帰り共有をお願いいたします。最後に、時間が押すほどの熱意ある発表でした。各委員会の想いを受け止め、引き続きご支援をお願いいたします。

# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第8分科会次第

[テーマ]

## 未来に向かって、世界平和の架け橋になろう

司会／森川 真樹(名古屋東RC)

プログラム	分科会 役職	役 職	氏 名
1 開会の辞		次期地区スタッフ	大上 隼人 (名古屋東RC)
2 リーダー挨拶	L	次期米山記念奨学委員長	神谷 恵理 (愛知長久手RC)
3 寄附増進について	AL	次期米山記念奨学副委員長	武山 卓史 (名古屋丸の内RC)
4 奨学生選考について	AL	次期米山記念奨学副委員長	七田 隆二 (名古屋守山RC)
5 世話クラブの役割について	AL	次期米山記念奨学委員	山田 圭 (知立RC)
6 地区委員会の活動について	AL	次期米山記念奨学副委員長	森 正志 (名古屋和合RC)
7 質疑応答	L	次期米山記念奨学委員長	神谷 恵理 (愛知長久手RC)
8 グループ討議		次期米山記念奨学委員会	メンバー全員
9 まとめ・講評		次期ガバナー補佐	伊藤 隆守 (豊田三好RC)
10 閉会の辞		次期分区幹事	石川 道男 (豊田三好RC)





## 第8分科会報告



次期米山記念奨学委員長

神谷 恵理

各クラブの米山記念奨学委員長に多数出席賜り、「未来へ向かって、世界平和への架け橋になろう」をテーマに、第8分科会（地区米山記念奨学委員会）は皆様ご協力のおかげで和やかな雰囲気の方科会となりました。

森川 真樹 地区副幹事司会のもと、大上 隼人 地区スタッフより開会の辞を頂き進行して参りました。

まず、私の方からはリーダーとして、米山記念奨学事業の全体像をご理解頂く為に地区米山記念奨学委員会の組織・役割と一年間の行事活動予定、また公益財団法人米山記念奨学会の概略をご説明し、地区米山記念奨学委員会が主催しました奨学生対象の事業をDVD映像にまとめたものを皆様にご覧頂きました。（このDVD映像は、10月の米山月間に地区米山記念奨学委員会の委員が各クラブに卓話でお邪魔した際には、ロータリーメンバーの方々にもご覧頂き、奨学委員会の理解を深めていただく一助となればと活用しております。）

続きまして、4名の副委員長・委員から順に、4つの主要な観点から米山記念奨学についてご説明させて頂きました。

「寄付増進について」武山 卓史 副委員長より

2025年6月30日現在の資料から、全国からの視点で第2760地区の寄付状況と、第2760地区の中での各クラブ状況を説明し、普通寄付と特別寄付の違い、税制上の優遇について、また寄付率についての内容を中心に、第2760地区での採用奨学生数は、寄付の総額と寄付率によって決定することをご説明し、2026-27年度寄付増進へのご協力を皆様にお願ひさせて頂きました。

「奨学生選考について」七田 隆二 副委員長より

4月に公益財団法人米山記念奨学会が行う対象留学生の人数アンケートに始まり推薦指定校の選定や推薦枠の割り振り、推薦指定校への説明会を経て10月の奨学生募集。そして1月の面接と、1年間の流れを皆様にご説明致しました。

今年度も1月の面接において約120名の応募者の中から37名の新規奨学生を選びました。この奨学生がロータリーを理解し、将来各国と日本との良好な関係を築き上げてくれると確信しております。

「世話クラブの役割について」山田 圭 委員より  
米山記念奨学生の制度の根幹をなすのが、奨学生のお世話をしていただく世話クラブ・カウンセラー制度になります。奨学生を月1回例会へ招待しコミュニケーションをとることから始まり、どのようにして奨学生との良い関係を構築していくのかを事例の紹介や、世話クラブを引き受けて頂いたクラブにとってのメリットについても具体的な例をあげて皆様にご説明致しました。

「地区委員会の活動について」森 正志 副委員長より

地区米山記念奨学委員会の活動をご理解いただくため、1年間の活動予定を中心にお伝え致しました。1. 理解促進 2. 寄付増進 3. 指定校選定・奨学生選考・採用および世話クラブ選定とオリエンテーションの開催 4. 奨学生ケアと世話クラブ・カウンセラー制度の充実 5. 奨学生の提出書類などの徹底とフォロー 6. 学友・学友会との連携等について具体的に皆様にご説明致しました。

この後質疑応答の時間を設け、出席委員長の質問にお答えさせて頂きました。

昨年同様、出席者の方々には10名ずつのグループに分かれてもらい、米山記念奨学委員会メンバーが進行をし「自己紹介・米山記念奨学事業についてや寄付の方法等」を時間が足りないくらい活発に討議して頂く事が出来ました。

まとめ・講評を伊藤 隆守 次期ガバナー補佐から頂き、最後に石川 道男次期分区幹事より閉会の辞を頂き、終了となりました。



# クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 第9分科会次第

[テーマ]

学ぶ楽しさ、役立つ喜び。挑む力は、ここにある。

司会／松宮 弘明(名古屋東RC)

プログラム	分科会 役職	役職	氏名
<b>1</b> 開会の辞		次期地区副幹事	松宮 弘明 (名古屋東RC)
<b>2</b> リーダー挨拶	L	次期地区ラーニング副委員長	岸 洋行 (名古屋みらいRC)
<b>3</b> 私のロータリー歴	PDG	パストガバナー 次期地区ラーニングファシリテーター 次期ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) 地区代表委員	酒井 法丈 (豊田RC)
<b>4</b> 例会の向こう側にある本当のロータリー — 財団が生むインパクト —	PDG	パストガバナー 次期副ガバナー 次期ロータリー財団地域 コーディネーター (RRFC)	吉川 公章 (名古屋南RC)
<b>5</b> パネルディスカッション		次期ファシリテーター	照井 栞 (名古屋大須RC)
<b>6</b> まとめ・講評		次期ガバナー補佐	岡田 雅隆 (犬山RC)
<b>7</b> 閉会の辞		次期地区副幹事	松宮 弘明 (名古屋東RC)





## 第9分科会報告



次期地区ラーニング副委員長

岸 洋行

第9分科会は、「学ぶ楽しさ、役立つ喜び。挑む力は、ここにある。」をテーマに、入会3年未満の会員を対象として、ロータリー活動への理解を深めるとともに、主体的な関わりを促すことを目的に開催しました。

当日は239名の登録があり、酒井法丈パストガバナーおよび吉川公章パストガバナーによる講話に加え、照井栞次期ファシリテーターの進行のもとパネルディスカッションを実施し、参加者が多角的に学びを深める機会となりました。

冒頭、松宮弘明次期地区副幹事より開会の挨拶があり、続いて分科会リーダーとして岸洋行が挨拶を行いました。

まず、酒井法丈パストガバナーより、28年にわたるご経験をもとにロータリーの本質について講話がありました。クラブは活動の基盤であり、例会は単なる会合ではなく、自己研鑽と信頼関係構築の重要な場であると示されました。奉仕は他者への貢献であると同時に、自身の成長を促す機会でもあり、「楽しむこと」と「役割を担うこと」の両立が継続的な関与につながるとの示唆がありました。さらに、日々の小さな関わりの積み重ねがクラブ全体の活力を生み出すことにも言及されました。

続いて吉川公章パストガバナーより、ロータリー財団の意義と社会的インパクトについて講話がありました。ポリオ根絶活動などの具体例を通じ、寄付は単なる資金提供ではなく、社会課題の解決に主体的に関わる意思表示であると説明されました。また、国際的な活動経験を踏まえ、ロータリーは人と人、地域と世界をつなぐ場であり、関わることで自身の視野や価値観にも変化をもたらすものであると述べられました。

パネルディスカッションは、照井栞次期ファシリテーターの進行により、両パストガバナーへのインタビューに加え、一部の新会員にも発言を求める形式で行われました。参加者からは、ロー

タリーは「多様な人と出会い、互いを理解する場」であり、「仕事や家庭とは異なる第三の居場所」としての価値があるとの意見が共有されました。また、主体的な参加や同好会活動を通じて関係性が深まり、継続的な参加意欲につながる事が確認されました。さらに、限られた時間の中での関わり方や役割の持ち方についても率直な意見交換が行われ、無理のない形で関わりながら主体性を持つことの重要性について共通認識が得られました。

最後に岡田雅隆次期ガバナー補佐より講評をいただきました。本分科会は終始温かみのある雰囲気の中で進行し、意義深い学びの場であったとの評価を受けました。また、各講話の内容が具体的かつ実践的であった点にも言及され、今後のクラブ運営を担う人材への期待が示されました。あわせて、無理をせず楽しみながら継続していくことが、ロータリー活動の充実につながるとの助言をいただきました。

新会員の皆さまが講話者のお話に熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。本分科会を通じて、何か一つでも今後の活動のヒントを得ていただけたのであれば幸いです。本日の学びが、これからのロータリアンとしての歩みの一助となることを期待します。





## クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー まとめ



ガバナーエレクト

國府谷 俊盛

長時間にわたるセミナー、お疲れ様でした。最後まで真剣にご参加いただきました姿に感謝申し上げます。

田中久夫講師には巧妙な語り口で、啓発的なお話をいただきました。私も田中様のご著書をガバナーノミニーの頃から熟読するように努め、一冊目はボロボロになり二冊目も付箋だらけになっております。続編も昨年末に上梓され、先日読み終えたところです。今日は時間の都合で、用意されたスライドの全てをお話だけでなく残念ではありますが、ご著書をお買い求めいただきクラブ運営の糧にさせていただければ幸甚です。

セミナー後半の分科会も、それぞれのテーマのもと活発に展開されたように拝察します。

会長エレクト、幹事の方々の参加された第1、第2分科会においては危機管理、財団、RDF関係の理解を深めていただけたかと存じます。その他の委員会の分科会には進行に妨げにならぬよう、ガバナーエレクト、ノミニーの視察は行いませんでした。決して委員会を軽視するものではないことをご理解ください。各次期委員長のもと委員会活動が充実した展開となる一年であることを祈念申し上げます。また入会三年未満の皆様にもロータリー活動の基本をご理解いただけたことと存じます。

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーにご参加いただきありがとうございます。各クラブでのご活躍を期待しております。





## 次期ホストクラブ挨拶



次期ホストクラブ会長

高橋 司

皆さん、こんにちは。

名古屋名南ロータリークラブ次年度会長の高橋司と申します。

2027-28年度クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーのホストクラブを名古屋名南ロータリークラブが行う事となりました。

大変光栄なことでありますが、何分、本セミナーのホストクラブを務めさせて頂くことは初めての経験であり不安と緊張を会員一同、感じているところです。

私どものクラブを少しご紹介させていただきます。

名古屋名南ロータリークラブは、ここ名古屋マリオットアソシアホテルで事務局を構え、主に名古屋市内を中心に活動し、会員数は現在50名です。

今年、創立35周年を迎えることができました。これは、スポンサークラブである名古屋東南ロータリークラブ様をはじめ、皆様方のお力添えがあったおかげであると感謝いたします。

当クラブは名古屋市内で初の女性会員の入会クラブであること。夜間例会であり、仕事を終えてからの出席が可能な為、くつろいだ雰囲気の中で例会が進められ、例会終了後の会員間の交流も盛んです。

一方で、会員の高齢化、入会1～2年未満での退会など、会員増強と退会防止が喫緊の課題となっています。

このような中、次年度ホストクラブを務めることは「大きな力となり、若手、先輩会員が一致団結できるチャンス」と捉え、今年のホストクラブである、津島ロータリークラブの皆様、昨年の豊田三好ロータリークラブの皆様の素晴らしい設営を参考に勉強させていただき、次年度、本セミナーを成功に導けるよう全会員が一丸となって乗り切っていきたいと思っております。

開催日は2027年4月18日、開催場所は、名古屋マリオットアソシアホテルです。愛知県下84クラブの会長始め、ひとりでも多くの会員の皆様に来年も参加していただけるよう、名古屋名南ロータリークラブメンバー一同、会場でお待ちしています。

最後となりますが、永井年度の門出となる、次年度、本セミナーが有意義な一日となる事を祈りながら、私からのご案内とさせていただきます。

本日はどうも有難うございます。





## 講 評



ガバナー

鈴木 康仁

本日は、長時間にわたりお疲れさまでした。

本日のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーも、こうして一日の日程を終えようとしております。

本日のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーでは、ガバナーエレクトから次年度の方向性が示され、また、田中久夫様（高崎ロータリークラブ）による「そうだったのか!?ロータリークラブ!!」と題したご講演を通じて、ロータリーについてあらためて考える貴重な機会をいただきました。さらに、分科会を通じて、それぞれの分野から自クラブの運営について考える学びを深めていただきました。

冒頭にお話しさせていただいたように、私たちのロータリーは、それぞれのクラブの活動の積み重ねによって形づくられていきます。

本日ここで得られた学びや気づきを、それぞれのクラブへ持ち帰り、クラブの中で活かしていく。その一つひとつの実践が、ロータリーの確かな歩みとなっていくと信じています。

本年度、私は、「まじりあつまりあやをなす」という言葉を大切にまいりました。

人と人が出会い、語り合い、考えを交わす中で、新しい気づきや価値が生まれていく。

本日のこの一日も、まさにそのような時間であったのではないかと感じております。

どうか本日の学びをそれぞれのクラブへ持ち帰っていただき、次年度のクラブ運営に活かしていただければ幸いです。

皆さまのクラブの一年が、実り多いものとなりますことを願い、簡単ではありますが講評とさせていただきます。

本日はありがとうございました。





## お礼の言葉



実行委員長

浅井 彦治

国際ロータリー第 2760 地区 2026-2027 年度のクラブ・リーダーシップ・ラーニング・セミナーにご参加の皆さん、本日は大変お疲れ様でした。

本日のセミナーのホストを務めました津島ロータリークラブの実行委員長の浅井彦治と申します。

今回のセミナーのホストを拝命してから 1 年以上になりますがその間津島ロータリークラブは一年前の豊田三好の石川実行委員長のもとで開催された昨年 4 月 20 日の地区研修・協議会にも全員参加で勉強させて頂きました。その後豊田三好ロータリークラブのご指導を頂き詳細な説明を受け津島ロータリーの運営に向けての体制作りを進めてまいりました。名称の変更後クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーとなり企画委員会、担当者による打合せを計画的に実施する中で鈴木ガバナー、國府谷ガバナーエレクトはじめファシリテーターの方々と交えて前々年、前年担当された名古屋錦ロータリークラブ様、豊田三好ロータリークラブ様のご指導賜り山積する問題を解決してまいりました。

また津島ロータリークラブもメンバーの減少もありこれだけのセミナーを持ちこたえる事が問題になりましたが運営に当たりましては名古屋東ロータリークラブ様、あまロータリークラブ様の多大な御協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

会場として利用させていただきました名古屋マリオットアソシアホテル様には担当者の今井様はじめ例年の実績があり効率的で的確な指摘や対応を頂き大変感謝申し上げます。

本会の運営を通して、大掛かりなセミナーだった事もあり行き届かなかった点多々あったと思いますが、手作りで開催するロータリー事業でもありますので友情を持ってお許し頂きたいと伏しお願い申し上げます。

今回の地区方針「元気で なかよく 楽しくそして 高潔に」の下、國府谷ガバナーエレクトの交友のある国際ロータリー第 2840 地区パストガバナー田中久夫様の「そうだったのか!? ロータリークラブ!!」と題した特別講演を頂く事が出来た事も本会に相応しいものとなりました。本会の成果が第 2760 地区全域のロータリアンに伝わり 26-27 年度各地で予定されているロータリーの奉仕活動が実り多い結果となります様祈念しております。

最後に今回のセミナーのホストを務めました津島ロータリークラブは豊かな歴史を持つ素晴らしいクラブであります。活躍して頂いたメンバーも優秀なロータリアンです。これをご縁にお集まりのロータリークラブの皆様と今後お互いに友好関係が深まる事をお願いして御礼の挨拶とさせていただきます。

# 当日の写真



# 当日の写真





***CREATE  
LASTING  
IMPACT***

**持続可能な  
インパクトを  
生み出そう**



2026-27年度

# クラブ・リーダーシップ・ ラーニングセミナー

開催日 2026年4月5日(日)

会場 名古屋マリオットアソシアホテル



ホストクラブ：津島ロータリークラブ





2026-27年度

クラブ・リーダーシップ・  
ラーニングセミナー

ホスト：津島ロータリークラブ